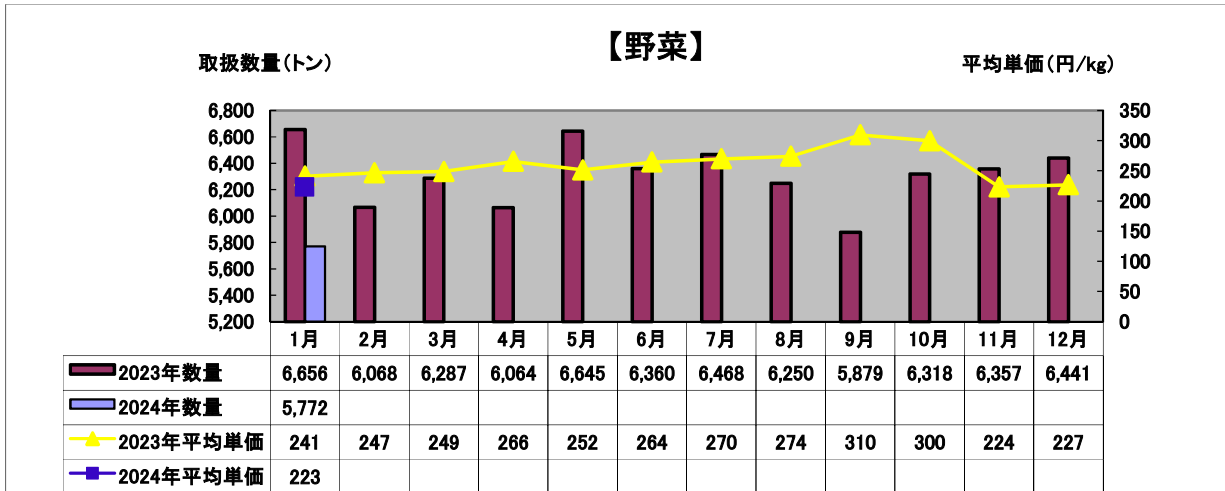
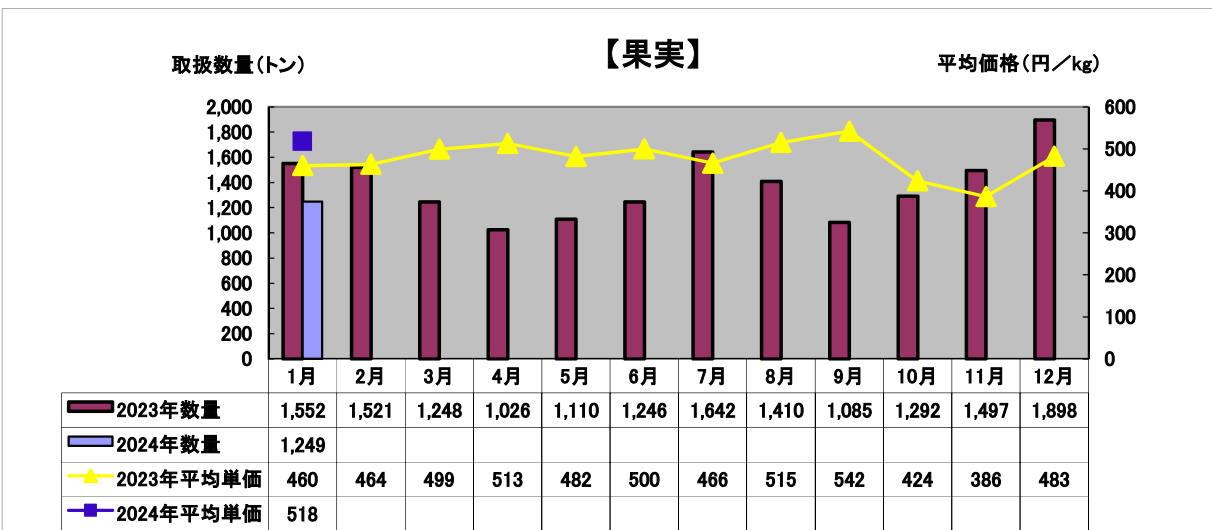


令和6年(2024年)1月 青果部種類別市況



1月の野菜類は、暖冬傾向の中、冬商材品目の荷動きは低迷。消費者の買い控えもあったことから、数量は減少し、前年に比べ単価はやや安く推移しました。

前年比数量 87%、単価 92%で終了しました。



1月の果実類は、みかん類をはじめ中晩柑類は小玉傾向で正品化率の低下。りんご類は夏の猛暑の影響を受け数量は減少。単価については、高く推移しました。

前年比数量 80%、単価 112%で終了しました。